

## Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/10/09

### Forex

|           | Close  | CHANGE |
|-----------|--------|--------|
| USD/THB   | 33.56  | 0.08   |
| JPY/THB   | 0.2265 | 0.0006 |
| USD/JPY   | 148.20 | 0.02   |
| EUR/THB   | 36.86  | 0.12   |
| EUR/USD   | 1.0980 | 0.0004 |
| USD/CNH   | 7.074  | 0.003  |
| SGD/THB   | 25.73  | 0.06   |
| AUD/THB   | 22.64  | 0.02   |
| USD/INR   | 83.96  | -0.01  |
| USD Index | 102.55 | 0.01   |

### Bond

|           | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB)  | 2.320 | 0.000  |
| 10Y (THB) | 2.568 | 0.001  |
| 5Y (USD)  | 3.846 | -0.019 |
| 10Y (USD) | 4.012 | -0.014 |

### Commodity

|           | Close   | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD      | 2,615.0 | -29.8  |
| WTI (Oil) | 73.57   | -3.57  |
| Copper    | 9,742.5 | -187.0 |

### Stock

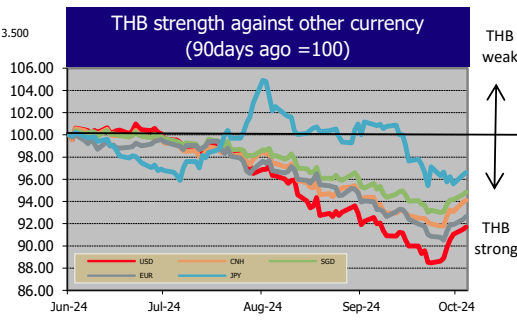
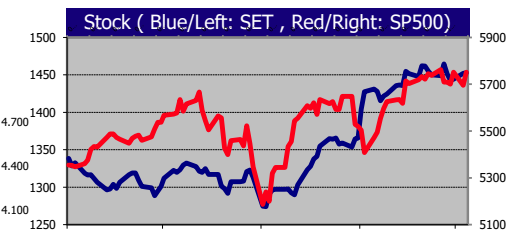
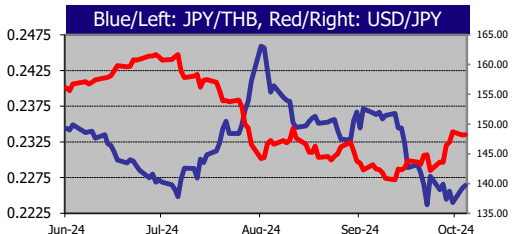
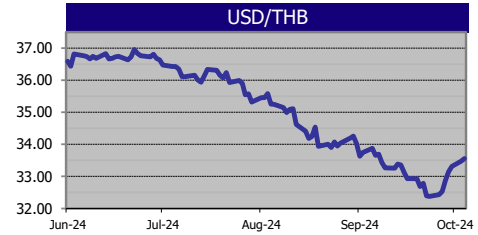
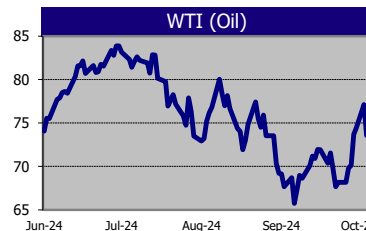
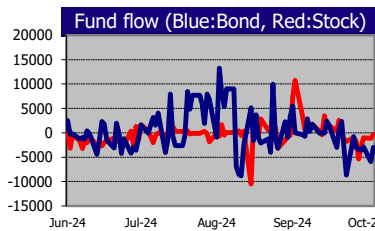
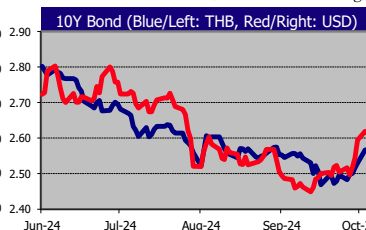
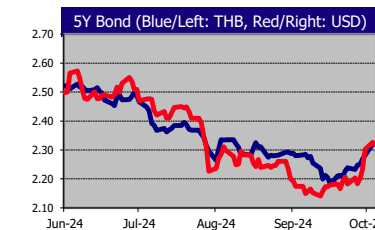
|             | Close     | CHANGE  |
|-------------|-----------|---------|
| SET (TH)    | 1,452.80  | 0.60    |
| NIKKEI (JP) | 38,937.54 | -395.20 |
| DOW (US)    | 42,080.37 | 126.13  |
| S&P500 (US) | 5,751.13  | 55.19   |
| SHCOMP (CN) | 3,489.78  | 153.28  |
| DAX(GER)    | 19,066.47 | -37.63  |

### Fund Flow (Overseas Investors)

|                | Close   | CHANGE |
|----------------|---------|--------|
| Stock net flow | (343)   | 820.6  |
| Bond net flow  | (2,987) | 2951.6 |

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



### Yesterday's market summary

#### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは方向感に欠ける推移。33パーツ台半ば付近で取引を開始すると、中国国家発展改革委員会が行った記者会見にて、新たな景気刺激策が発表されたなかったことに対する失望感から人民元が下落。アジア通貨も下押しされる格好となり、ドルパーツは上昇した。ただ、勢いは続かず、バンコク時間午後1時に下落に転じると、海外時間入りにかけてオープンと同水準まで戻し、往ってこいの展開に。その後は米金利が上昇幅を拡大させる動きを横目にドルパーツも再び上昇に転じ、終盤にかけてじりじりと値を戻しながら33.56レベルでクローズを迎えた。

#### ●ドル円その他

昨日のドル円はほぼ変わらず。148円台前半の水準で取引を開始。特段材料ない中で米長期金利の下落を眺めながら、ドル円も上値重く推移。一時147円台半ばを付ける場面を見せた。バンコク時間午後1時に入ると上昇に転じ、海外時間には148円台前半まで戻したものの、勢いもそこまで。終盤にかけては同水準で小動きとなり、そのまま148.20レベルで引けた。

### Bangkok Dealer's Eye

中国の国慶節明けとなった昨日は、国家発展改革委員会(NDRC)から追加の刺激策について説明があるとの期待感が市場にあったものの、そのような発表はなく失望をもたらしたとの声が広がっていました。9月に広範な景気刺激策を打ち出しているものの、本日に2024年のGDPが目標の5%に届くのかどうかは懐疑的に見ているということの表れかと思います。タイ経済は中国の動向に影響を受けやすい点からすると、昨日の失望は少なからずタイにも影響があったのではないのでしょうか。タイパーツの動きは、構造的な問題として中国のサプライチェーンへの依存度が高いため中国の動きに左右されることに加えて、米国の金融政策で大きく動いているというのが足許の状況です。政府、経済団体からBOTに対して利下げ圧力が強まっていますが、引き続き米国、中国の政策効果を十分に確認してからでないと動けないということと理解しています。市場では、BOTの利下げは早くても12月からを織り込んでいますが、来週のMPCではBOTがどのような景気認識を持っているかがポイントになるのではないかと考えます。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.